学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「精選　古典探究」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、日本の古典（古文）と中国の古典（漢文）を中心に読みます。また、必要に応じて近代以降の文語文や漢詩文、古典についての評論文を取り扱うこともあります。
・古典は、文化の基盤であり、時代を超えた知的財産です。この授業を通し、先人のものの見方・考え化に触れ、古典の価値を再認識するとともに、自己の在り方について見つめ直してほしいと思います。
・教材は、授業担当者が用意します。受講生のみなさんは、教科書と筆記用具を必ず持参してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国 の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	説話 ［教材］ 「大江山いくのの道」(十訓抄) 「生野」(梨木果歩)	a:古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 c:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	随筆 ［教材］ 「行く河の流れ」(方丈記) 「宮に初めて参りたるころ」(枕草子)	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。 c:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	物語 ［教材］ 「をばすて」(大和物語) 「光源氏の誕生」(源氏物語)	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 c:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
後期	故事・逸話 ［教材］ 「知音」「画竜点睛」「漱石枕流」 「塞翁馬」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。 c:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	漢詩 ［教材］ 「竹里館」「磧中作」「峨眉山月歌」「登岳陽楼」「哭晁卿衡」 「示諸生」「将東遊題壁」	a:古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを捉えることができる。 c:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	思想 ［教材］ 「賢哉回也」「行不由径」(論語) 「不忍人之心」(孟子) 「人之性悪」(荀子)	a:　古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 c:古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間